

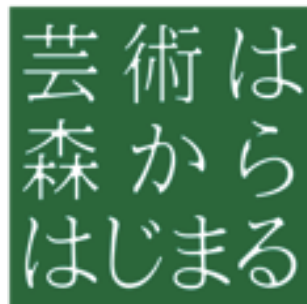
愛知県立芸術大学



2016
愛知県立芸術大学創立50周年
記念事業

愛知県立芸術大学創立 50 周年記念展示

芸術は森からはじまる



自然豊かな愛芸の教育環境が育み、国際的な評価を得た芸術家たちが一堂に会する大展覧会！

このたび、愛知県立芸術大学創立50周年記念事業実行委員会は「芸術は森からはじまる」を、2016年9月3日（土）から9月24日（土）までの22日間、長久手市内愛知県立芸術大学構内全域において開催をいたします。

本学は1966年の開学以降、中部地域における芸術教育の中心として、数多くの芸術家たちを輩出してきました。皆、芸術家や大学教員、産業でのクリエイティビティーの担い手として活躍しております。

本展は、国際的活躍めざましいアーティストたちの作品を、本学構内の屋内外に展開するものです。本学のキャンパスは、森深い校地に日本近代建築の吉村順三氏・奥村昭雄氏が設計した校舎が林立する、芸術と自然とが融合した独自の空間を魅力としています。これまで本学を訪れたことのなかった方々も、これらの作品を通して、「芸術は森からはじまる」ことを実感し、豊かな感性を育む教育環境としての愛知県立芸術大学を知って頂く機会となることでしょう。

是非貴社にお取り上げ頂きたい、お願い致します。

【会 期】 2016年9月3日（土）～9月24日（土） （入場無料）

【会 場】 愛知県立芸術大学構内全域（愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114）

【開場時間】 11時00分～17時00分 （サウンドイベントは19時まで）

休展日 9月5日（月）12日（月）20日（火）

土、日、祝日はリニモ芸大通駅より管理棟前まで送迎バス20分おきに。

【内 覧 会】 2016年9月2日（金）14時00分～18時00分

（※レセプション17時00分～19時00分）

【主 催】 愛知県立芸術大学 共催：愛知県立芸術大学美術学部大学同窓会

■みどころ～国内外で特に人気の高い作家たちが、室内野外で同時に展示します。～

- 1、奈良美智+森北伸による、巨大な野外インスタレーション
- 2、創立当時の貴重な写真を展示。
- 3、戸谷成雄、小林孝亘、岡田修二の大きな作品が、同じ部屋に展示。
- 4、横山大観の作品と福永恵美の耽美的インスタレーションがコラボする。
- 5、学外でサウンドインスタレーション、音が空間になる。
- 6、ほぼすべての作家が、この展覧会のために新作を発表します。（戸谷成雄以外）

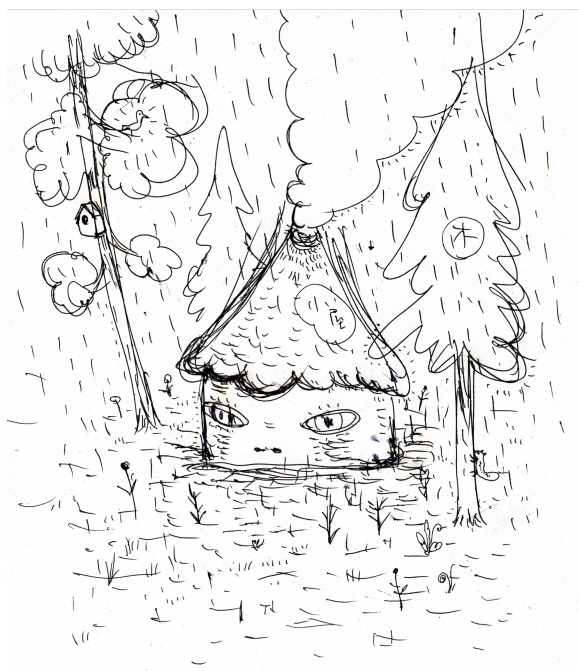
■総合企画者より

関口敦仁

1958年、東京都生まれ。2013年より愛知県立芸術大学教授。

力強く、簡潔なメッセージを持つ、造形的作品を作り出す作家たちが多いのが愛知県立芸術大学の特徴。このような作家を生み出した要因は、この大学の環境の影響がおおいにあるのではないだろうか。大都会名古屋に隣接しながらも、自然の中へと意図的に自らを隔離し、芸術を生み出そうとする力がここを卒業した多くの作家たちの特徴としてみてとれる。吉村順三氏と奥村昭雄氏の設計した素晴らしいキャンパスと50年かかって育ってきた森が多くの作家たちのイメージの拠り所となっているに違いない。それをストレートに感じてもらうには、この場所に来て、作品を見て頂くしかないだろう。

<展示作品紹介>



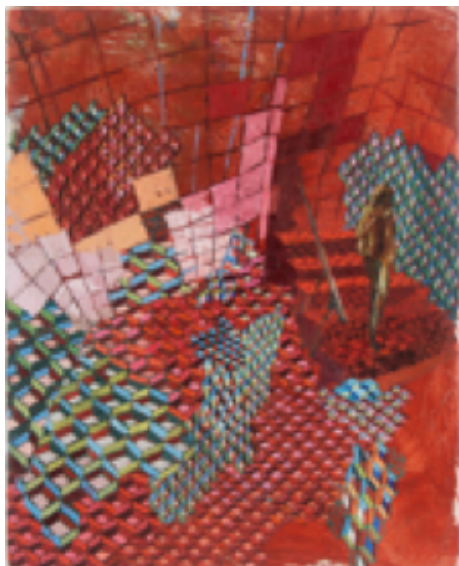
奈良美智+森北伸
環境インスタレーション
「森の中の大きな頭のスケッチ」
2016年

奈良美智と森北伸が森の中に、土と粘土で人が入れる小屋を作り、中には壁画も描かれます。



覗くと、自然の原風景としての内部空間が現れる。
木をチェーンソーで彫刻した作品。

戸谷成雄 「洞穴体V」 2011
木、灰、アクリル/ wood, wood ash, acrylic
220x220x220cm



坂本夏子 「部屋の内側」 2016 h.27.5 x w.22.5 cm
oil on canvas



「画家」
2016年
h.15.0 x w.17.0 cm
oil on canvas



福永恵美
《残されたもの一覆い》 2013年
脱色した百合の花弁、水糊
280×80×14cm



横山大観
雲去来
1917年
170.5×373cm

問い合わせ先

愛知県立芸術大学 学務部 芸術資料館 電話：0561-76-4698

<http://aigei50th.auchi-fam-u.ac.jp/morikara/>

